

2022.1.19

# 診療ガイドライン活用の実際

## ～若手医師を取り巻く場面から～

教育プログラム検討会  
今井 健二郎

 Minds Copyright (C)2022 Minds

1

1

2022.1.19

## 本項目の学習目標

- 本項目受講によって
  1. 診療ガイドラインを活用する理由が説明できる
  2. 診療ガイドラインを医療現場で活用する方法が述べられる

 Minds Copyright (C)2022 Minds

2

2

2022.1.19

## 診療ガイドラインをなぜ活用するか？

- 個々の患者への最善の治療を行うため“医学的妥当性”と“患者の希望・意思”が高い次元でバランスがとれ、医療者・患者の双方が納得できる意思決定に基づいた治療を行う必要がある。

↓

協働意思決定が重要

↓

協働意思決定を円滑にするために、  
診療ガイドライン（CPG）を活用することが望ましい。

Minds Copyright (C)2022 Minds 3

3

2022.1.19

## 診療ガイドラインを活用したい場面は？

- “医学的妥当性”と“患者の希望・意思”は、各々の場面で十分に検討する必要がある
  - “医学的妥当性”の側面
    - ①自分を指導する医師（上級医等）との治療方針の検討
  - “患者の希望・意思”の側面
    - ②患者・家族との（外来等での）治療方針の検討
  - こんな時にも活用する場面が！？
    - ③自分が指導する医師（研修医等）との治療方針の検討

Minds Copyright (C)2022 Minds 4

4

①自分を指導する医師（上級医等）との治療方針の検討 2022.1.19

・患者Aさんの治療方針を上級医と検討する場面

入院中のAさんの治療方針、どうでしょうか？

最近論文で調べた治療法があります！

診療ガイドラインはどうなっていた？

あんまりしっかり見てないな、

最新の治療法はガイドラインに書いていません！

論文に出たばかりの治療方法も重要だけど、まずは診療ガイドラインで推奨されている治療をしっかりと身に着けようね

CPGは、信頼に足るものとするために、多くの論文・エビデンスに対して科学的な評価を経て作成されている。  
CPGを超えるためには、まずはCPGを習熟すること！

Minds Copyright (C)2022 Minds 5

5

②患者・家族との（外来等での）治療方針の検討 2022.1.19

・患者Aさん本人と治療方針について検討する場面

Aさん、治療法は手術でいきましょう

手術は受けたくないんだよね

「手術しないで治る！」っていう本も売ってた

何か不安なことがありますか？

実は、父親も手術して、苦しそうに死んだんだよね

それは心配ですね。診療ガイドラインには、様々な治療法の良い面、悪い面がまとまっています。大事にしたいことを一緒に相談しながら考えていきましょう。

CPGに沿って説明することで、患者さんと医師が同じ方向を向いて話し合えるようになる。  
CPGを使いながら、患者さんと一緒に考え、決めていくことが大切！

Minds Copyright (C)2022 Minds 6

6

2022.1.19

### ③自分が指導する医師（研修医等）との治療方針の検討

- 患者Bさんの治療方針を研修医と検討する場面



自分



研修医

Bさんの治療、どうするのが良いと思う？

〇〇で治療するのが良いと思います！

どうしてそう思ったの？

前に同じ病気の患者Cさんへ上手くいきました！

Cさんには上手くいったんだね。ただ、同じ病気であっても、個々の患者さんには特有の事情があるよ。診療ガイドラインを参考にして、患者さんの状況に応じて治療法を選択していくのが重要だよ。

治療方法は、個々の患者の状況に応じて決定していく必要がある。  
CPGの質にも注目しながら、CPGに沿って治療方針を検討していくことは、  
研修医等への教育のツールとしても活用できる。

Minds Copyright (C)2022 Minds 7

7

2022.1.19

## まとめ

- 良い医療を行うためには、協働意思決定が重要
- CPGは、協働意思決定を円滑にすることに活用できる
- CPGをベースにすることは、医療者間での治療方針検討する際の指針となり、教育ツールにもなる

CPGを活用する場面は多岐にわたっており、  
医師-患者間、医療者間のコミュニケーションを  
円滑にするツールとして活用できる

Minds Copyright (C)2022 Minds 8

8

## 参考資料

2022.1.19

- Mindsウェブセミナー， みんなでつくるこれからの医療  
～診療ガイドライン入門～。「よい医療」とは何か  
[https://minds.jcqhc.or.jp/guide\\_author/info\\_detail/T0012600](https://minds.jcqhc.or.jp/guide_author/info_detail/T0012600)
- Minds診療ガイドライン作成マニュアル2020 ver3.0.  
第1章 診療ガイドライン総論  
[https://minds.jcqhc.or.jp/s/manual\\_2020\\_3\\_0](https://minds.jcqhc.or.jp/s/manual_2020_3_0)
- DOCTOR-ASE. 患者と医師の関係を考える ～上手に使おう  
診療ガイドライン～  
[https://www.med.or.jp/doctor-ase/vol18/18page\\_ID03main1.html](https://www.med.or.jp/doctor-ase/vol18/18page_ID03main1.html)
- 中山健夫. 診療ガイドライン：適切な作成・利用・普及に向けて.  
日本がん検診・診断学会誌 2009. 16 (3). 19-29

Minds Copyright (C)2022 Minds

9

9

## 2022年度 診療ガイドライン 学習教材 (導入教材)

■編集：公益財団法人日本医療機能評価機構 EBM医療情報部 教育プログラム検討会

■監修（50音順）：

奥村晃子 (日本医療機能評価機構 EBM医療情報部 部長)  
後藤温 (横浜市立大学医学部医学科 公衆衛生学教室)  
福岡敏雄 (日本医療機能評価機構/倉敷中央病院)

■作成（50音順）：

◎今井健二郎 (国立研究開発法人 国立国際医療研究センター)  
北野敦子 (聖路加国際病院 腫瘍内科)  
清原康介 (大妻女子大学 家政学部 食物学科)  
後藤温 (横浜市立大学医学部医学科 公衆衛生学教室)  
◎佐々木典子 (京都大学 大学院医学研究科 医療経済学分野)  
◎佐々木八十子 (静岡社会健康医学大学院大学)  
畠山洋輔 (東邦大学医学部社会医学講座 公衆衛生学分野)  
平林慶史 (有限会社ノトコード)  
藤原崇志 (倉敷中央病院 耳鼻咽喉科・臨床研究支援センター)

※◎は本動画教材を作成した検討会委員

■査読協力：公益財団法人日本医療機能評価機構 診療ガイドライン作成支援部会

Minds Copyright (C)2022 Minds

※所属等は2022年度時点  
10

10